

## 水元公園内の放射能汚染調査結果について

2012年2月21日

日本共産党東京都議会議員団

- 調査対象** 都立水元公園（葛飾区）内の、土壌、落葉などの放射性物質濃度
- 採取地点** 第1駐車場横の植え込み、メタセコイアの森、バードサンクチュアリ  
ドックラン南東側（別紙参照）
- 採取日** 2012年2月15日
- 目的と内容** 都内でも比較的放射線量の高い都立水元公園内で、都民から不安が寄せられているため、どのような所に、どの程度の放射線性物質があるのかを把握し、対策への一助になるように具体的なデータを把握すること。

### 調査結果

採取地点試料	放射性物質濃度 Cs134+Cs137 (Bq/kg)
メタセコイアの森の表面土壌	7,770~9,340
ドックラン南東側の土壌	13,300~14,000
野鳥観察舎入口の土壌（落葉混入）	21,700~23,300
駐車場南側植込み内の落葉	5,320~8,290
メタセコイアの落葉	1,180~2,340
（参考）駐車場南側植込み内のモミジバフウの実	168~707
（参考）杉並区高円寺北1丁目民家の土壌	144~158

### 測定方法など

使用測定器は、ベルトールドジャパン製 LB2045（NaI（T1）シンチレーションスペクトロメータ）。毎日、測定器の使用基準により測定器立ち上げ時に線源による校正、バックグラウンドの補正をおこなった上で、各サンプルを30分間測定した。

各サンプル量は400mlの試料容器に入れ、1日1回ずつ3~5回測定した。落葉類は樹木根元に集められたものを3つのサンプルに分けて測定、土壌は表層約1センチを2回分余を採取し、2つの試料をにして測定、3回目はそれらを混合して一つのサンプルにして測定した。駐車場南側の落葉は3回の測定値にバラツキが大きかったため、4、5回は混合して測定した。

比較のために、都内でも比較的的低線量だった杉並区高円寺北1丁目の民家の土も測定した。モミジバフウの実は堅く細分化困難で測定値にバラツキが大きかったので参考とした。

以上